

調査速報

外食需要動向（2019年7月）

天候不順等による客数減で、外食産業
売上高は35か月ぶりに前年割れ

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2019年7月の全国の1世帯あたり実質外食支出は前月比0.6%減（前年同月比2.3%増）となった。平年に比べて梅雨明けが遅れたことなどにより、家計が外出を抑制したことが要因と推察される。
- 7月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比0.5%減となり、35か月ぶりに前年の水準を下回った。
- 外食産業売上高の内訳をみると、客単価（同1.3%増）は上昇傾向が続いているものの、客数（同1.7%減）が前年同月の水準を下回り、売上高を押し下げる要因となった。

1. 7月の家計の実質外食支出は前月の水準を下回る

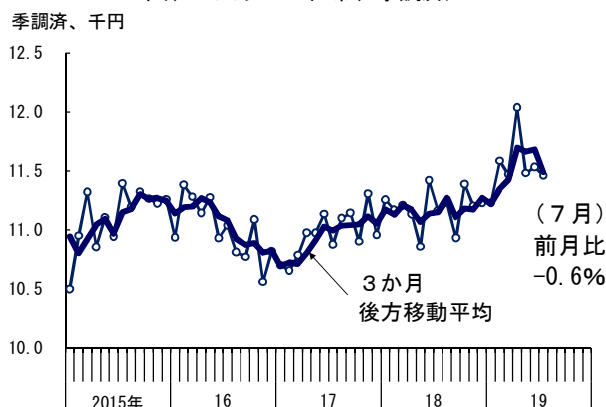
総務省「家計調査」に基づく2019年7月の全国の1世帯あたり実質外食支出（用途別分類、2人以上の世帯、学校給食を除く、実質化および季節調整は浜銀総合研究所が実施）は、前月比0.6%減（前年同月比2.3%増）となった（図表1）。平年に比べて梅雨明けが遅れたことに加え、九州地方での記録的な豪雨や台風6号の本州上陸などにより、家計が外出を抑制したことが家計の外食支出減少の要因になったと推察される。

2. 外食産業売上高は35か月ぶり前年同月の水準を下回る

一般社団法人日本フードサービス協会が発表した「外食産業市場動向調査」によると、大手外食チェーンの7月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比0.5%減となり、2016年8月以来、35か月ぶりに前年同月の水準を下回った（図表2）。売上高の内訳をみると、客単価（同1.3%増）はメニュー価格の引き上げや季節メニューの投入等により上昇傾向が続いている。他方、客数（同1.7%減）は前年水準を大幅に下回り、売上高を押し下げる要因となった。背景には前述の天候要因に加え、前年よりも日曜日が1日少ないという曜日の配列の影響があると考えられる。

図表1 実質外食支出は前月比マイナス

全国、2人以上の世帯、季調済



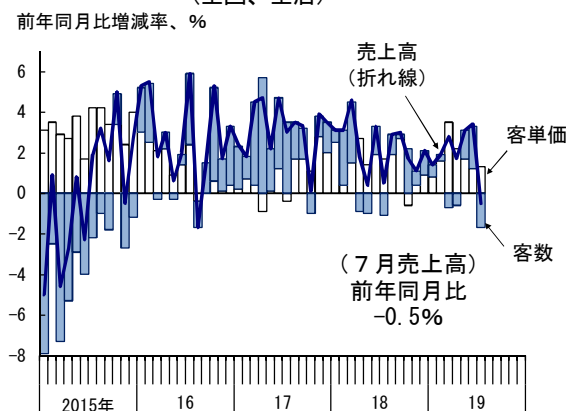
注1：総務省「家計調査」の用途別分類「一般外食」。

注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。

出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比マイナス

(全国、全店)



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。

注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。

出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. ファミリーレストランの売上高が大きく落ち込む

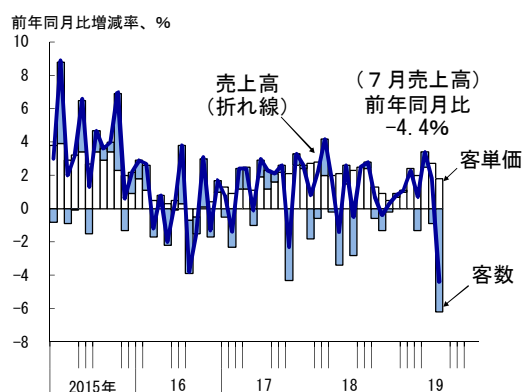
外食産業の売上高の動きは業態により大きく異なる（図表3）。業態別売上高の動きをみると、「ファミリーレストラン」が前年同月比4.4%減となった（図表4）。同業態では、特に「洋風（同6.3%減）」と「和風（同6.0%減）」の売上高の減少率が大きい。「ファミリーレストラン」では客数の減少（同6.2%減）が売上高の押し下げ要因となっている。最近の客数の伸びが他業態に比べて弱かったことに加えて、前述の天候要因等により「洋風」や「和風」の主要顧客であるファミリー層が外出を控えたことが大きく影響したと推察される。

これに対して、「ディナーレストラン」の売上高は前年同月比2.1%増（図表5）、「ファストフード」の売上高は同1.4%増と、ともに同前年同月の水準を上回った。特に、「ディナーレストラン」は客数の伸びが同1.9%増と前年同月の水準を上回った。同業態は「ファミリーレストラン」よりも客単価が高く、会合等のために事前予約して利用するなどにより、客数は他の業態に比べて天候要因や休日減等の影響を受け難いと推察される。

図表3 業態別の外食産業売上高（2019年7月、全店）

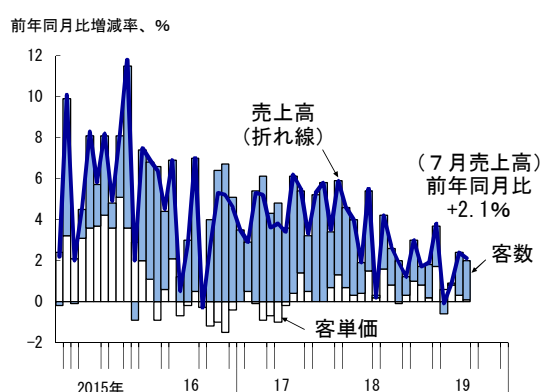
(前年同月比増減率)					
業 種	店舗数	売上高	店舗数	客数	客単価
全 体	35,390	-0.5%	-0.2%	-1.7%	1.3%
ファストフード	19,131	1.4%	0.3%	-0.3%	1.7%
洋 風	6,198	2.4%	-0.9%	0.6%	1.8%
和 風	5,194	1.6%	1.6%	-0.4%	2.0%
麺 類	3,239	2.6%	1.5%	0.1%	2.6%
持ち帰り米飯/回転寿司	1,906	-1.1%	-0.3%	-0.8%	-0.2%
その他	2,594	-3.3%	-0.1%	-6.1%	3.0%
ファミリーレストラン	9,578	-4.4%	-0.3%	-6.2%	1.8%
洋 風	4,882	-6.3%	-0.9%	-8.4%	2.3%
和 風	1,864	-6.0%	-1.8%	-6.0%	0.0%
中 華	1,437	0.5%	2.0%	0.7%	-0.2%
焼き肉	1,395	-0.5%	1.6%	-1.3%	0.8%
バブ・居酒屋	2,366	-1.4%	-2.8%	-2.4%	1.0%
居酒屋	2,020	-1.2%	-3.0%	-2.3%	1.2%
ディナーレストラン	1,012	2.1%	-1.7%	1.9%	0.1%
喫茶	2,037	3.7%	0.5%	0.4%	3.3%
その他	1,266	0.0%	-2.8%	-1.5%	1.6%

図表4 ファミリーレストラン売上高の推移（全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

図表5 ディナーレストラン売上高の推移（全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。